

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 125号

2015/1/12 発行
株式会社 立花商店
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き

① 最高3月 LDN 市場£2,046 /3月 NY 市場\$2,986 (1/6)
② 最低：3月 LDN 市場£2,000 /3月 NY 市場\$2,902 (1/8) 先週比
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£46 (傾向↑) / NY 市場\$84 (傾向↑)
週内建玉推移：LDN 市場 232,611 枚(12/31 終了時)⇒242,751 枚 (1/8 終了時) **+10,140 枚**
NY 市場 194,115 枚(12/31 終了時) ⇒198,684 枚 (1/8 終了時) **+4,569 枚**

	2015/1/5(月)		2015/1/6(火)		2015/1/7(水)		2015/1/8(木)		2015/1/9(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
4-Mar	2012	2944	2000	2902	2016	2912	2046	2986	2037	2968
5-May	1980	2927	1964	2887	1983	2895	2013	2963	2003	2944
5-Jul	1961	2912	1946	2873	1967	2883	1995	2947	1987	2932

2、コロンビア：サンタンデール県政府、地元農家を補助金で支援(1/8)

コロンビアのサンタンデールの政府は、2014年の1年間で100万ドルもの補助金を地元農家に送金した。このように地方政府は”Santander Tierra de Café 計画”のもと、サンタンデール地域の農家への支援を続けている。こうしておよそ5630軒もの農家は補助金によって恩恵を得ている。

*コロンビア・サントアンデール産カカオマス／トゥマコ産カカオマスのご案内
立花商店ではコロンビアのサントアンデール産、トゥマコ産のカカオマスの取扱いを
予定しております。サンプルをご入り用の際は弊社東京支店の坂元までご連絡下さい。



3、ガーナ：カカオ豆生産量が目標に達する見込み(1/8)

ガーナ産カカオ豆の買い付けライセンスを持っている企業によると、2014 年のカカオ豆の取引のペースは鈍いという。

しかしカカオの市場参加者は、メインクroppが終了するまでには取引量が伸びるだろうと楽観視している。

ガーナの集荷業者であるクアパココ社の最高経営責任者である Emmanuel Arthur 氏は「もし前年の収穫量が非常に多かった場合、通常はその翌年のクroppは少しペースダウンする。」と説明している。

ガーナの Cocobod は、2014/15 期のカカオ豆生産量を 85 万トンにする目標を打ち出している。カカオ豆の最新の生産者価格とフェアトレードカカオ豆に対するプレミアム料は、農家にとって生産量を増大させようという動機づけになっている。

Arthur 氏は「今シーズンのカカオ豆取引が鈍化しているからといって、我々がカカオ生産から離れてしまっているということではない。確かに昨年に比べるとペースは鈍いが、収穫量の目標は達成されている。」と述べた。

また彼は「2014 年 10 月に生産者価格が 62%上昇していると発表されてから、より多くの人々がカカオ育成に乗り出そうとしている。農家たちは彼らの農園を再生させようとしており、さらには新たな農地を探し求めている。彼らは昔捨てた土地をもう一度カカオ農園にしようとして、内地地にまで入り土地を追い求めている。ガーナのカカオ豆価格が、世界の市場価格に対してつり合いが取れていれば、より多くの人々がカカオ農業に従事するようになるだろう。さらにカカオ豆を輸出する港の利便性が良くなれば、カカオ豆の国外への輸出量が牽引されるだろう。」と加えた。

4、コートジ：ハルマッタン風が強まり、農家は懸念(1/5)

コートジのカカオ豆の主生産地の農家は、ここ 1 週間でハルマッタンによる影響が増大していることを報告している。ハルマッタンの風の影響でカカオの樹木にダメージが加わり、今シーズンのクロープへ悪影響を与える懸念が高まっている。

2014/15 期のメインクロープは 10 月 1 日より始まっており、ハルマッタンによる悪影響の懸念は残るが、1 月の終わりまでには十分な生産量を確保できると見込まれている。

しかしながら昨年と比較すると、カカオ豆の港への着荷量はかなり少ない結果となった。生産者は、12 月から 3 月までの間にサハラ砂漠から吹くハルマッタンの砂交じりの風による影響のせいであると述べている。

コートジ中西部の Daloa の農家は「カカオの樹木が悪影響を受け始めている。葉の色も黄色くなってしまった。多くの実り始めた小さなカカオの実が落ちてしまい、収穫量が減るリスクがある。」と述べている。

コートジは 11 月中旬から 3 月まで続く乾季の中にある。しかし良い作物が育つためには、農園に一時的に雨が降る必要がある。農家によるとここ 1 週間は全く雨が降っていないという。

コートジの中でも高品質カカオがとれることで知られている西部の Abengourou 地区の農家は「雨が全く降らないので、せっかく実ったまだ小さいカカオポッドがすっかり干からびてしまった。」と述べた。彼はまた「もしこのまま雨が降らなければ、カカオポッドが落ちてしまい 2 月から 3 月の収量が減ってしまう。」と続けた。

一方で同じく西部の Duekoue の農家は、ハルマッタンが始まったあとの 2 週間ではまだその影響は被っていないと報告しているものの、今後についてはやはり懸念を抱えている。

今年のハルマッタンは強力とされる中、西部の Soubre 地区では、メインクロープの収量については楽観視している。「確かに今年のハルマッタンは強力だ。しかし今のところカカオの木に影響を受けていない。大量の収穫が終わったところだが、まだ木にポッドが残っており 2 月の生産量も良いだろう。」と述べた。

5、ココアバター価格、カカオ豆プレミアム数年来の低水準(1/2)

*バターレシオは 2010 年以來の低水準

*コートジ産カカオ豆プレミアム：8 年ぶりの低水準

*エボラの影響を懸念し、チョコレート製造メーカーは前もって原料を仕入れる

カカオ豆の先物価格が 3 年来の高値を更新していることもあり、カカオ豆のプレミアムはここ数年来の低水準を記録している。またココアバターレシオは 3 か月前の 2.65 から大幅に下落し 2.15 となり 2010 年以來の安値となった。

米国のカカオ業界からの情報によると、世界最大のカカオ豆産地であるコートジのカカオ豆価格は下落し、ロンドン先物価格+10 ポンドから-100 ポンドとなり 2006 年以來の安値を記録した。また世界第 3 位のカカオ豆生産国のインドネシア産カカオ豆は、ニューヨーク先物価格-50 ドルから-400 ドルとなっており、4 年ぶりの安値となった。こうした下落の要因は、ここ最近ココアバターレシオやカカオ豆の先物価格が急上昇し、チョコレートメーカーが代用油脂などの代替原料にシフトしたことにある。

コートジではハルマツタンの影響でカカオ豆の生産量が低下し、港への着荷量が減少しておりニューヨーク先物価格を押し上げる方向にある。しかし先物価格に対してプレミアムを±して定まる実際のカカオ豆取引価格は、この先数カ月の需要減の予測から下がっている。この原因は昨今のカカオ原料高により、マーズ社やハーシー社などの主要チョコレートメーカーがチョコレート価格を値上げしたことにある。

米国のカカオ業界からの情報によると、原料高による価格値上げの影響で、チョコレートへの需要が下がるという。また他の情報源によると、世界最大の消費圏である欧州の経済停滞により需要が落ちると考えられている。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp